



第50回雑居まつり 発起人会および第1回実行委員会 報告

- 開催日 2025年6月28日(土) 午後7時～9時
- 会場 児童相談所会議室A・B

配布資料

- 第50回雑居まつり 発起人会および第1回実行委員会 資料
- 第50回雑居まつり 参加台帳
- 雑居まつりに関わるすべての方へ ～このまちでくらす～
- ご報告
- 第49回雑居まつり会計報告、雑居まつりを支える会総会資料
- 1991年「世田谷同友会 長尾當代さん、被爆体験を語る」(復刻版)
- 第49回雑居まつり会場案内図(参考用)

ご報告

●澤畑勉さん 永眠

2025年1月7日、澤畑勉さんが永眠されました。

澤畑さんは世田谷のボランティアと福祉、および、子ども・青年の分野において、けん引してきた一人です。

多くの団体や事務局員が澤畑さんを通して雑居まつりを知り、関わってきたことでしょう。今まで雑居まつり続けることができたのは、澤畑勉さんの功績によるものです。

ご冥福をお祈りしますとともに、今までのご活躍に感謝しながら、故人の遺志を引き継いでいきたいと思っています。

(上記報告とともに世田谷市民運動「いち」機関紙第408号、第411号参照)

●雑居まつりセミナー報告

昨年12月、日本原水爆被爆者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました。しかし残念なことに、核兵器廃絶に向けた道のりは遠く、逆に核兵器使用のリスクが高まっています。そこで、1991年、第16回雑居まつりセミナーにてお聞きした、元日本被団協の副会長・長尾當代さんの被爆体験の記録を復刻版として再発行しました。記録には、雑居まつり創始者の一人である宮前武夫さんの話も収録されています。

発起人会

○参加団体28団体、51人が集まりました。事務局員含め、自己紹介しました。1団体から複数の方が参加したり、山梨から来てくれた方もいました。

○第50回雑居まつりの開催を拍手で確認しました。

2025年10月12日(日)(荒天の場合は13日に順延)・羽根木公園で開催を予定

第1回実行委員会

1. 世田谷区からの助成について

1, 480, 124円の助成を受けられることになりました。

昨年からプレハブの代わりに舞台横のテント設置となり、その分金額が調整されています。

2. 世田谷区社会福祉協議会からの「世田谷共同募金配分金」について

10万円の助成をいただけることになりました。

3. 第49回雑居まつり会計報告

第49回は69, 375円、収入が上回りました（黒字）。しかしこれまで、「雑居まつりを支える会」から借り入れた分の返済ができていなかった年も多く、支える会への寄付金として計上しました。

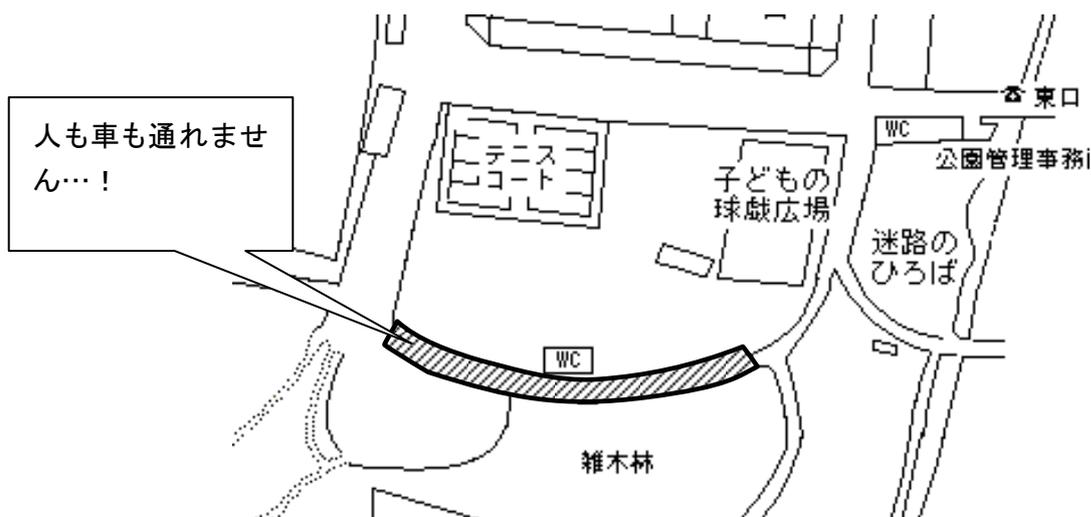
4. 雑居まつりを支える会会計報告

○「雑居まつりを支える会」の存在理由を説明しました。

○利息が329円つきました。

5. 羽根木公園の改修工事について

昨年から羽根木公園の改修工事が続いています。今年は、東口のプレーパークから梅林に抜ける園路を舗装する工事で、その範囲がほとんど通れなくなります。



昨年までのような、車の搬入・搬出のための公園内の走行も難しいので、どのような方法があるか、公園管理事務所との確認の上検討します。



6. 「遊べ！おとなたち」報告

6月21日にプレーパークせたがやの総会イベントとして、“「冒険遊び場」「雑居まつり」「自主保育」の50年”というテーマで活動報告およびパネルディスカッションがおこなわれました。

雑居まつり事務局: 吉田柚香さん「すごい盛況だった。母親のおなかの中にいるときから雑居まつりに参加している私の話も、みんなが楽しんで聞いてくれてよかった」

雑居まつり事務局:橋直之さん「梅ヶ丘、豪徳寺、経堂のわずか3つの駅を結ぶ地域で新しい発想の市民運動が3つ同時に起きた。3つの団体の共通点は行政をあてにせず、住民主体であること。だからこそ今も続いている」

自主ようちえんひろば:花田朋美さん「50年前の自主保育の先輩の話と自分の思いをつなぐことができた。50年前、3つの団体が同時に活動を始めたのは必然だったと思う。今、雑居まつりの中でプレーパークもひろばもつながっていることがうれしい」

プレーパーク:瀧さん「長い50年の中で変わったものもあるが、変わらなかったものがあるのではないか。澤畑さんが伝えたように、『ボランティアとは自分たちで考え、自分たちで行動を起こし、解決すること』が根っこにある。これが次の50年続くといいなという思いを込めている」

7. 50周年イベントについて

①参加団体の交流会を開催 拍手で確認されました。

日時：9月28日（日）午前11時～午後2時 ※雨天の場合は事務局で検討

場所：羽根木プレーパーク

内容：●バーベキュー ●各団体からのアピール など

②雑居のオリジナルグッズとして「てぬぐい」を作成する 拍手で承認されました。

方法① 交流会当日にイベントの一環として、自分で持ってきたTシャツやさらし（てぬぐい）などにシルクスクリーンでプリントする。

方法② 業者発注する

方法①・②のいずれか、または両方を行う。

具体的には、事務局会議の中にプロジェクトチームをつくりその中で詳細を検討し、実行委員会の場で決定していきます。

50周年イベントを手伝ってくれる人を募集します！

8. 第50回雑居まつりの方向性の確認

①開催時間 午前10時～午後4時 拍手で確認されました。

②趣旨の確認（内容次ページ） 拍手で確認されました。

③実行委員長の選出

昨年に引き続き、**世田谷区聴覚障害者協会 本多忠雅さん**が選出されました。

「50周年は重みがある。何が出来るか、みんなで一緒に考えていきましょう」

④会計監査の選出

サポートステーションさいとう 齋藤有司さん

世田谷ボランティア連絡協議会 野中悟さん

上記お二人に今年もお願いすることになりました。

⑤模擬店は「有」、飲食スペースを「つくる」

飲食スペースの運営方法は、昨年と同様「模擬店団体が担う」

⑥出店場所については、昨年と同様「エリア別」 ※場所の選定や通路の確保は今後の議題

⑦全体企画（サンバパレード・スタンプラリー・メインステージ・その他）を今年もすすめる
（食器について／ごみ処理について／マスクの着用、消毒液の設置について は次回）

私たちが、日々生活している街。この街で私たちが今日にいたるまで築きあげてきた文化は、一方では生活を豊かにしてきましたが、他方では環境汚染にみられるように、あらゆる生命をおびやかすものになってきています。また、それにつれて、私たちの心も物の豊かさに反比例するように、ほかの人々を排除したり、心を理解するゆとりが失われがちになったりしてきています。こうした現状をふまえて「地域の問題は地域住民の手で」をひとつの合言葉に、さまざまな地域の問題をとりあげて活動している団体・個人の自発的参加によって、「雑居まつり」を企画しました。まつりは、そこに参加するすべての人々が楽しみを分かちあうとともに、お互いの生活や思い、そして地域社会全体にかかわる問題を語りあい、自分たちの今の生活を問いなおすきっかけにしていきたいと思えます。さまざまな企画を通して、お互いの問題を理解しあえるように、私たちは、私たちにの表現で、まつりを創りあげていきます。

それぞれの問題をかかえた人々が、まつりを通してつながりを深くしあい、ともに生きる地域社会をめざしたいと考えております。この輪のひろがりこそ、「雑居まつり」の最も大切にしていきたいことなのです。地域の皆さまの積極的なご協力、ご参加をお願い致します。

9. 51回以降の雑居まつりの実施について

実行委員会の中でこれからも続けていきたいという声がたくさん上がり、事務局会議における参加人数も増えたので、継続していく方向ですすすめています。

【参加台帳しめきり】 第2回実行委員会の8月2日（土）まで

※事務局からの提案により

実行委員会の中で団体の交流を目的として、団体紹介の時間を設けることになりました。

毎回、3団体がそれぞれ3分程度で自分の団体のアピールを行っていきます。

次回の実行委員会は、原水爆禁止せたがや市民会議、プレーパークせたがや4プレ会、パクパク・ナティンがトークします！

自分の団体の活動紹介の準備をお願いします。

◆今後の予定

※会議の進捗状況により、回数が増えたり減ったりする可能性があります。

- 第2回実行委員会 8月 2日（土）午後7時～9時 児童相談所A・B会議室
- 第3回実行委員会 9月 6日（土）午後7時～9時 児童相談所A・B会議室
- 第4回実行委員会 9月20日（土）午後7時～9時 児童相談所A・B会議室
- 第5回実行委員会 9月27日（土）午後7時～9時 児童相談所A・B会議室
- 第50周年交流会 9月28日（日）羽根木公園 午前11時～午後2時
- 第6回実行委員会 10月 4日（土）午後7時～9時 児童相談所A・B会議室
- 第50回雑居まつり 10月12日（日）羽根木公園 午前10時～午後4時
- 第7回実行委員会 11月 1日（土）午後7時～9時 児童相談所A・B会議室